

令和6年度授業改善プラン

- (取り組み内容)
- ・毎学期の終わり、自分の担当(各学年ごとに項目だて)の授業に関して作成する。
 - ・本年度の自己の研修課題に関連し、自己の授業を分析し課題を見いだす。
 - ・見いだされた課題に対し改善プランを立て、指導方法の工夫・改善を図る。
 - ・学期の終わりに検証を行い、来学期につなげていく。

教科名(保健体育) 教科主任名 金子 拓豊

★教科・観点について
 学力向上のための調査・期末テストび学期の学習状況、生徒の授業アンケートをもとに分析し記入する。<○成果 ▲課題>

観点	前半～9月			後半～1月		次年度に向けて まとめ	
	学年	課題分析	具体的な改善策	学年	課題分析(授業改善・プランの1次評価)		1次評価後の具体的な改善策
知識・技能	1年	○技能の名称や運動の行い方を理解することができていた。▲技術を反復する機会を確保することができなかった。	各単元の最初に基礎・基本となる技能の反復練習の時間を設ける。	1年			
	2年	○活動の合間にアドバイスを入れたことで生徒がすぐに実践する機会が増え、技能の向上が見られた▲授業中は説明内容をその場で理解しているが、より定着を図る必要がある。	・IOT機器を使用し、視覚から情報を取り入れられるような工夫をする。	2年			
	3年	○ペアでの練習でお互いの知識、技能を高めることができた。 ▲名称やルールなど知識の定着を図る必要gaaru.	授業の中で定期的にルールなどを口頭で確認する。もしくは、審査前に問題プリントを配布し確認させる	3年			
思考・判断・表現	1年	▲対話する活動が少なく、集団として考える時間が確保できなかった。また、表現する場を設定する必要がある。	毎授業の中に短い時間でも課題について考える時間を増やしていく。また、考えが深まるための発問を設定していく。	1年			
	2年	▲練習や運動に対して、工夫や改善を図ろうとする力を育む必要がある。	ペア活動やグループ活動の時間を増やしていく。また、話し合いが円滑に進むように内容設定を細かくする。	2年			
	3年	○技能ポイントを伝え、やり方を選択させることで自分に合う動きを考えさせることができた。 ▲学習カードの中で分かっている文章で表現できない生徒がいる	教えられたことではなく、自分がどのように与えられた知識を活用して工夫し技能を高められたかを、再度書き方を伝える	3年			
主体的に学習に取り組む態度	1年	○授業に対する取り組みやルールを守ろうとすることができていた。 ▲授業の終始時間に間に合わないことがあった。	1年生の実態を考え、余裕のあるタイムマネジメントをしていくことや、生徒の活動がスムーズになるような授業展開をしていく。	1年			
	2年	○素直で真面目な生徒が多く、友達との学び合いや課題に対して積極的に取り組もうとする姿勢が見られる。▲苦手なことに対して少し消極的になる場面もある。	全体の達成目標の他に個人に合わせた達成目標を決め、小さな達成感を味わえるようにしたい。	2年			
	3年	○ルールや時間を守ることはできていた。▲意欲的に取り組む生徒とそうでない生徒との差が大きかった。	グループ活動では、リーダーとなる生徒が周りに声をかけ、主体的に取り組めるようにリーダーを育てていく。	3年			